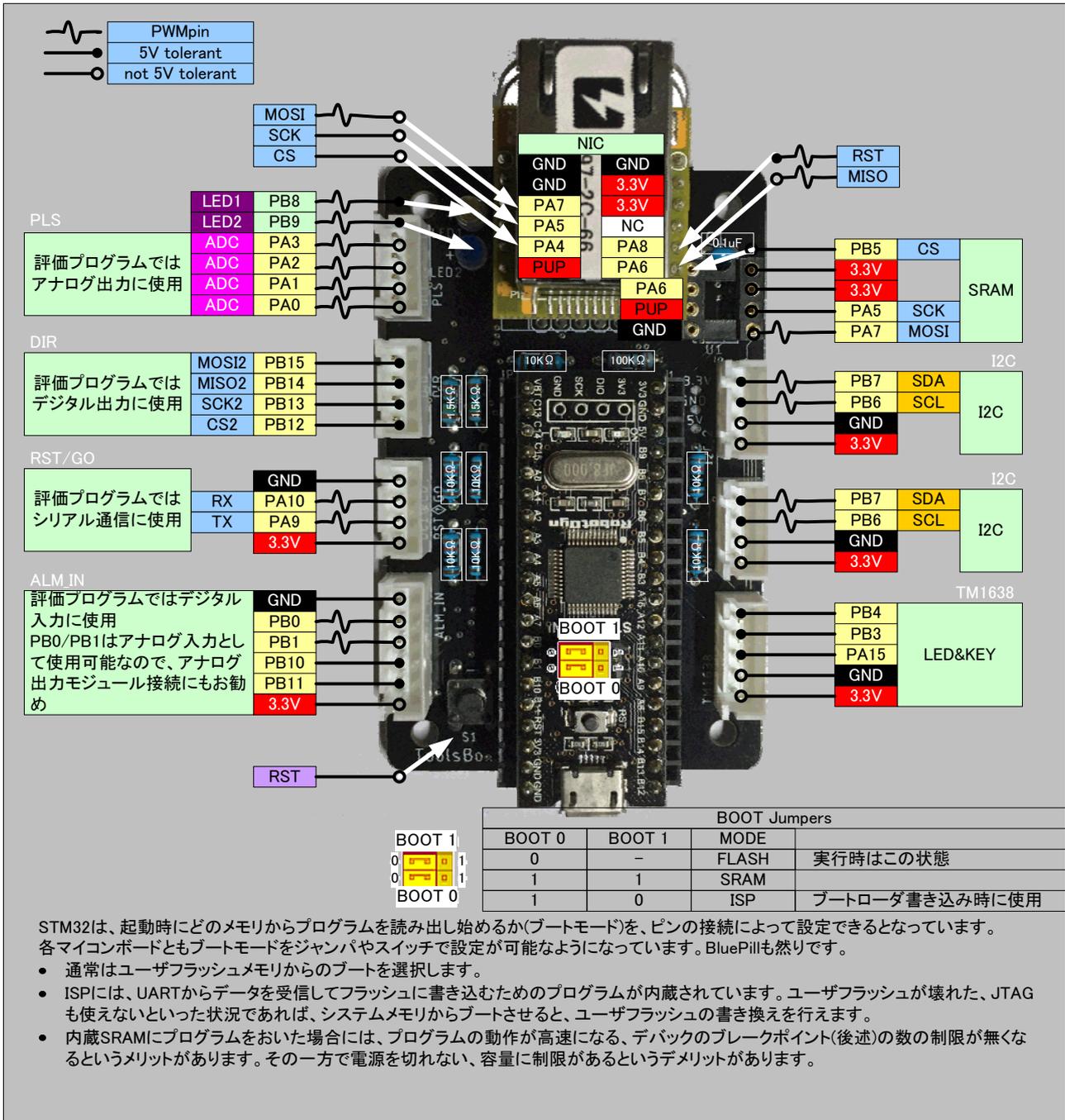


STM32miniShield PinMap



STM32は、起動時にどのメモリからプログラムを読み出し始めるか(ブートモード)を、ピンの接続によって設定できるようになっています。各マイコンボードともブートモードをジャンパやスイッチで設定が可能になっています。BluePillも然りです。

- 通常はユーザフラッシュメモリからのブートを選択します。
- ISPIには、UARTからデータを受信してフラッシュに書き込むためのプログラムが内蔵されています。ユーザフラッシュが壊れた、JTAGも使えないといった状況であれば、システムメモリからブートさせると、ユーザフラッシュの書き換えを行えます。
- 内蔵SRAMにプログラムをおいた場合には、プログラムの動作が高速になる、デバックのブレークポイント(後述)の数の制限が無くなるというメリットがあります。その一方で電源を切れない、容量に制限があるというデメリットがあります。